

平成27年度 学校経営目標と評価

1 本年度の重点目標

- (1) 規律ある生活を送らせ、基本的な生活習慣の確立に努める。
- (2) 基礎学力を定着させ、個々の生徒の進路実現につなげつ。
- (3) キャリア教育を推進し、進路意識の高揚を図る。
- (4) 教育相談の充実により、個々の生徒の心のケアを継続する。
- (5) 特別活動の充実により、生徒の自主性・自立性の伸長を図る。

2 自己評価結果に対する学校関係者評価

(1) 自己評価、生徒評価、保護者評価は、肯定的評価の割合により、以下のとおりとした。

- 75%以上の場合 . . . A
- 67～74%の場合 . . . B
- 50～66%の場合 . . . C
- 50%未満 . . . D

(2) 学校関係者評価は、5名の評価委員より以下の基準で評価をいただき、その平均をとった。

- 適切である . . . A
- 概ね適切である . . . B
- やや不適切である . . . C
- 不適切である . . . D

番号	項目	内容	評価			現在の対応及び改善策	学校関係者評価	
			自己評価	生徒評価	保護者評価		自己評価の適切さ	対応・改善策の適切さ
1	学習指導	学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業	A	B	A	今年度は新教育課程の完成年度であり、普通科では全学年で雄志クラスを中心とした体系的な学習指導を行った。校内研究授業は年に2回行い、授業振り返りアンケートによって授業の反省等を行った。	A	A
2	生徒指導	挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導	A	A	A	朝の立ち番と定期的な服装頭髪検査を実施しており、服装頭髪については概ね良好である。しかし、学年を追う毎にだらしない傾向にあるので、共通理解のもと指導の徹底を図っていききたい。	A	A
3	進路指導	進路目標の明確化に向けた適切な指導	A	A	A	AO推薦から一般受験まで含めた受験指導をより組織的に行い合格に結びつけたい。就職における情報の共有と全職員による指導を更に進め、内定は勿論、早期離職を防ぐ指導を継続したい。	A	A
4	教育相談	教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じられる体制	A	A	A	二人のカウンセラーとの連携うまく機能し効果的に教育相談を行うことができた。カウンセリング便りをHPに掲載し保護者の目に触れやすくなるよう試みた。	A	A
5	部活動	部活動が活発	A	A	A	部活動は全体的に活発である。しかし、1年生は全員加入で、2・3年生は希望者となり部活動加入率が低下する傾向にある。顧問だけでなく全職員が部活動の重要性を訴え、更なる活発化を図りたい。	A	A
6	生徒会活動	生徒会活動が活発	A	B	A	生徒会執行部による募金活動、駅前清掃、挨拶運動など積極的な活動が見られた。しかし、全校生徒への活動状況を告知する場面が少なく、生徒会活動が浸透していない。生徒会だよりや生徒指導だより等を使って活動内容の発信を行っていききたい。	B	A
7	学校行事	有意義な学校行事	A	B	A	文化祭・体育祭は、実行委員会を中心に企画運営をし、盛り上がった行事になったと思う。しかし、企画段階で全校生徒を巻き込んだ話し合いの場面を作る必要がある。	A	A
8	防災教育	災害・非常時の避難方法や連絡方法の伝達	A	B	B	今年度マニュアルを全面改定し、防災組織・防災管理・防災教育の骨子が固まり、次年度の防災教育の方向性が明確になった。来年度は、マニュアルに沿った防災教育を展開すると同時に、保護者用のマニュアルの作成やHPの活用、PTA会報やメーリングリストを使った広報活動を検討・実施する。	B	A
9	特色ある学校づくり	地域や伝統などに根ざし、地域に開かれた学校づくり	C	C	A	一部の授業で地域の企業見学を行ったり、出前講座を実施し、地域の取組などを学び、地域との交流を行った。	B	A
10	情報の発信	学校便りなどによっての情報の適切な伝達	A	A	A	学年便り・長期休業時の生徒心得・学校新聞等の各種刊行物や連絡網として登録メールへの配信、また、HPでの大会や行事情報を配信し、適切な時期に情報の発信に努めた。	A	A
11	施設設備	校舎やグラウンドなどの施設や設備の整備	A	A	A	東西両キャンパスの施設・設備の老朽化に対応し修理・改修を随時行った。	A	A
12	いじめ問題	施設や設備の整備	A	B	B	年4回定期的に無記名によるアンケートを行った。生徒評価が昨年度よりは向上したが、アンケートの記入の仕方がその場で行うため記入しづらいことがあると思う。家庭に一度持ち帰らせ、翌日封筒にて回収するなどの改善をしていきたい。	B	A
13	総合満足度	学校生活の充実度		A	A	学校として、生徒・保護者の要望だけでなく、地域住民の要望にも可能な限り応え、本校生にとって有意義な学校生活を送れるよう努めた。	B	A
平均			A	A	A			